

1 運営協議会の開催状況 ※ひとづくりネットワークと共催ではなく単独で開催した学校運営協議会についても記載

| 回数 | 月日 (曜) | 参加者数 | 議事内容 (テーマ・話題) | 会の持ち方の工夫、成果・課題 等 |
|-----|--------------|------|--|--|
| 第1回 | 5/21 (火) | 20名 | ・規約、会長・副会長の選出 ・めざす子ども像の策定に向けて ・地域コーディネーターの選出、各部会組織の決定、予算、活動提案 ・各部会の活動計画の作成 | ・新しく文化スポーツ部会を設定した。 ・めざす子ども像である「美星を誇れる子」を具体的に議論し、共通認識ができた。 ・ふるさと祭りで中学生がボランティアとして、各自治公民館の出店に参加することで、地域貢献や地域の良さを知る活動を提案した。 ・美星中学区の教職員研修として「美星フィールドワーク（教職員が美星の良さを知る研修）」の実施提案があった。 |
| 第2回 | 8/9 (金) | 9名 | ・ひとづくりネットワーク懇談会に向けて | ・例年11月に開催していた懇親会を8月に開催した。 ・懇親会がスムーズに「めざす地域像」の熟議が行えるように留意点や分担を話し合った。 |
| 第3回 | 10/10 (木) | 20名 | ・懇談会の振り返り ・「めざす地域像」の決定と周知方法の決定 ・年度後半の取り組みの報告 (地域像は良い意見が出るが、決定までいかず、後日役員で提案) | ・会長とファシリテーターが懇談会の意見を資料にまとめて、地域像を策定するためのワークシートを作成し、活用した。 |
| 第4回 | 11/27 (水) | 7名 | ・「めざす地域像」(案)の決定 | ・ホワイトボードに各自、案を記入し、キーワードを意識しながら、途中A I も取り入れて検討。 |
| 第5回 | 3/12 (水) | 20名 | ・本年度の活動の振り返りと来年度の構想 | |

2 懇談会の開催状況

| 回数 | 月日 (曜) | 参加者数 [主な所属(内訳)] | 議事内容 (テーマ・話題) | 会の持ち方の工夫、成果・課題 等 |
|-----|-------------|---|--|---|
| 第1回 | 8/21 (水) | 37名 [消防署(1) J A (1) 天文台(2) 駐在所(2) 保護司会(1) 更生保護女性会(2) 民生委員(1) 主任児童委員(2) 有識者(1) 観光協会(2) 美星っ子づくり協議会(2) 星の郷ふれあいサロン運営委員会(1) 公民館(1) 自治公民館連合会(1) 地元企業家(1) 生き生きクラブ責任者(1) 幼小中PTA(3) 幼小中教員(9) 中学生(4)] | ・各部会の取り組み状況の報告 ・グループに分かれてめざす地域像の熟議、報告、まとめ | ・熟議の前に趣旨・論点の説明をおこない、熟議にしっかり時間をかけた。 ・まとめはポスター形式にして、発表をプロジェクターに投影した。 |

3 めざす子ども像(地域像、学校像、家庭像等)

(子ども像)「美星を誇れる子」 (地域像)「大人も子どももふるさと美星でつながり笑顔あふれる地域」

4 めざす子ども像の実現に向けた地域学校協働活動のアイデア

- 読書フェスティバルへの参加(7/13 4年、有志)
- 学習ボランティア(1年昔遊び、2年九九マスター、3年ぶどう学習、5・6年家庭科ミシン、4～6年地域学習)
- ◎美星フィールドワークの実施(7/26 教職員)
- 美星っ子夢フェスティバルへの参加(9/1 自由参加)
- 交通安全キャンペーンへの参加(9/25 3年 幼稚園児)
- 地域での検定(漢字検定10/25 勉強会 星の検定12/14)
- 美星ふるさと祭り参加(ステージ(上・下学年)、ブース(4～6年) 11/10)
- 星の郷ふれあい健康マラソン・マラソン教室への参加(有志)(全校応援メッセージ全員)
- ◎めざす地域像横断幕の制作・掲示(2月)

5 地域学校協働活動の実施に係る主な連携及び支援団体

- 公民館
- 美星っ子づくり協議会
- 井原市役所交通係
- 星の郷ふれあい健康マラソン実行委員会
- 語りの会(こすもす)
- 美星町観光協会
- 美星天文台
- 更生保護女性会
- 老人クラブ

◆めざす子ども像（地域像、学校像、家庭像等）

（子ども像）「美星を誇れる子」 （地域像）「大人も子どももふるさと美星でつながり笑顔あふれる地域」

◆活動の様子

【幼稚園】

地域の方の愛情をいっぱい浴びながら、豊かな体験を味わいます。



生け花体験



お茶体験



染物体験

【美星フィールドワーク(地域・教職員対象)】



7月26日(金)

美星を誇れる児童生徒にするには、先生方が美星の魅力を知る必要があることから、美星幼小中学校の教職員(参加者25名)を対象に美星フィールドワークを実施した。星尾神社や阪本鶏卵販売所や美星天文台などをバスで移動し、ひとづくりネットワーク委員に各地の特徴を説明していただきました。

【ふるさと祭り】



11月10日(日)

「ふるさと祭り」では、上学年・下学年のステージに加え、今年から4・5・6年生の総合的な学習の時間で学んだことを表現・発表するブースを出店し、ふるさと祭りを盛り上げました。

【学習ボランティア】



更生保護女性会の方に、2年生九九マスター、5・6年ミシン学習のお手伝いをしていただきました。温かく励ましてくださるので、がんばれます。

【交通安全キャンペーン】



ひとづくりネットワークで交通安全キャンペーンを主催し、園児・児童・生徒が手作りのプレゼントをドライバーに配付し交通安全を啓発しました。

【星の郷ふれあい健康マラソン】



1月12日(日)練習会開催

1月29日(日)

星の郷ふれあい健康マラソン

【地域学習】



美星町の場所、もの、ひとと関わりながら、各学年で美星の魅力は何かを考え、探究する活動に取り組みます。

【星の勉強会・星の検定】



学習支援部会が中心となり実施。6年生も宣伝活動、ボランティアスタッフとして参画しました。

11月29日(金)星の勉強会開催

12月14日(土)星の検定

◆成果(○)・課題(△)・来年度に向けて(☆)

- 地域と学校の連携・協働による、ひとづくりネットワークの取り組みが、内容、幅ともに着実に広がっている。
- △ 本ネットワークが学校運営協議会と連携しながら、教育課程外で行う活動を、いかに地域主導で行えるようになるかが課題。
- ☆ 子どもたちが地域の魅力を理解し、参加～参画活動をさらに開拓し、その取り組みを地域に定着させていく。